

線形代数3

担当 丹下 基生 : 研究室 (B715) mail(tange@math.tsukuba.ac.jp)

第3回 ('25年1月15日)

Def.

$A \in M(n, \mathbb{C})$ とする.

$$A^* := {}^t \bar{A}$$

標準内積 (\cdot, \cdot) を以下で定める.

$$(\mathbf{a}, \mathbf{b}) = {}^t \mathbf{a} \bar{\mathbf{b}} = \sum_{i=1}^n a_i \bar{b}_i$$

Thm. $A \in M(n, \mathbb{C})$ が相異なる n 個の固有値を持つとき, A は対角化可能である.

(\therefore) $\alpha_1, \dots, \alpha_n$ を A の異なる固有値とする. このとき, 固有空間だから V_{α_i} の次元は 1 以上. よって, $W := V_{\alpha_1} \oplus \dots \oplus V_{\alpha_n} \subset \mathbb{C}^n$ の W は n 次元以上となる. \mathbb{C}^n の部分空間だからちょうど n 次元となる. よって, $V_{\alpha_1} \oplus \dots \oplus V_{\alpha_n} = \mathbb{C}^n$ よって, A は対角化可能.

Fact. $W \subset V$ かつ $\dim V = \dim W$ なら $V = W$ である.

(今日やること)

Def.

$A \in M(n, \mathbb{C})$ とする.

$$A \text{ は正規行列} \Leftrightarrow A^* A = A A^*$$

$$A \text{ はユニタリ行列} \Leftrightarrow A^* A = E$$

$$A \text{ はエルミート行列} \Leftrightarrow A^* = A \quad A \text{ は歪エルミート行列} \Leftrightarrow A^* = -A$$

$A \in M(n, \mathbb{R})$ とする.

$$A \text{ は対称行列} \Leftrightarrow {}^t A = A$$

$$A \text{ は交代行列} \Leftrightarrow {}^t A = -A$$

$$A \text{ は直交行列} \Leftrightarrow {}^t A A = E$$

正規行列はユニタリ行列によって対角化可能!

対称行列は直交行列によって対角化可能!

特に対称行列は対角化可能.

定理 7.4. $\mathbf{a}, \mathbf{b} \in \mathbb{C}^n$ と \mathbb{C}^n の標準内積 (\cdot, \cdot) に対して次が成り立つ.

$$(\mathbf{A}\mathbf{a}, \mathbf{b}) = (\mathbf{a}, \mathbf{A}^*\mathbf{b})$$

Thm. $A \in M(n, \mathbb{C})$ が正規行列のとき, $\mathbf{A}\mathbf{p} = \alpha\mathbf{p}$ ならば, $\mathbf{A}^*\mathbf{p} = \bar{\alpha}\mathbf{p}$

Thm. $A \in M(n, \mathbb{C})$ はエルミート行列もしくは, $A \in M(n, \mathbb{R})$ が対称行列の場合, 固有値は実数. $A \in M(n, \mathbb{C})$ は歪エルミート行列もしくは, $A \in M(n, \mathbb{R})$ が交代行列の場合, 固有値は純虚数. ユニタリ行列もしくは直交行列の固有値は長さが 1 の複素数, つまり, \mathbb{C} の単位円上にある.

定理 7.5. $A = (\mathbf{a}_1 \cdots \mathbf{a}_n) \in M(n, \mathbb{C})$ に対して次が同値.

- A はユニタリ行列である

- $\mathbf{a}_1, \dots, \mathbf{a}_n$ は複素内積空間における正規直交基底である.
- A は標準内積を保つ. つまり, $(A\mathbf{a}, A\mathbf{b}) = (\mathbf{a}, \mathbf{b})$ が成り立つ.

定理 7.5'. $A = (\mathbf{a}_1 \cdots \mathbf{a}_n) \in M(n, \mathbb{R})$ に対して次が同値.

- A は直交行列である
- $\mathbf{a}_1, \dots, \mathbf{a}_n$ は実内積空間における正規直交基底である.
- A は標準内積を保つ. つまり, $(A\mathbf{a}, A\mathbf{b}) = (\mathbf{a}, \mathbf{b})$ が成り立つ.

定理 7.6. $A \in M(n, \mathbb{C})$ に対して次が同値である.

- A は正規空間である.
- A はユニタリ行列によって対角化できる.

問題 1 [対称行列の対角化]

$A = \begin{pmatrix} 2 & -1 \\ -1 & 2 \end{pmatrix}$ とする. このとき, A は対角化できるか判定せよ. もし対角化できるなら, その固有ベクトルを求め, 対角化する正則行列を求めよ.

問題 2 [対称行列の対角化]

次の行列の固有値と固有空間の基底を求め, 直交行列によって対角化せよ.

$$(1) \begin{pmatrix} 2 & -1 & -1 \\ -1 & 2 & -1 \\ -1 & -1 & 2 \end{pmatrix} \quad (2) \begin{pmatrix} 0 & 1 & 1 \\ 1 & 0 & 1 \\ 1 & 1 & 0 \end{pmatrix} \quad (3) \begin{pmatrix} 1 & 2 & -1 \\ 2 & 0 & 2 \\ -1 & 2 & 1 \end{pmatrix}$$

問題 3 [エルミート行列の対角化]

次の行列の固有値と固有空間の基底を求め, ユニタリ行列によって対角化せよ.

$$(1) \begin{pmatrix} 1 & -i \\ i & 1 \end{pmatrix} \quad (2) \begin{pmatrix} 1 & -2i \\ 2i & 1 \end{pmatrix} \quad (3) \begin{pmatrix} 2 & i & 0 \\ -i & 3 & -i \\ 0 & i & 2 \end{pmatrix} \quad (4) \begin{pmatrix} 0 & i & 1 \\ -i & 0 & i \\ 1 & -i & 0 \end{pmatrix}$$

問題 1 の固有値

$\{3, 1\}$

問題 2 の固有値

(1) $\{0, 3\}$

(2) $\{-1, 2\}$

(3) $\{\pm 2\sqrt{2}, 2\}$

問題 3 の固有値

(1) $\{0, 3\}$

(2) $\{3, -1\}$

(3) $\{-2, 1\}$